

九大薬友会関西支部総会 30周年記念講演

パネルディスカッション

「新医薬品の創生と開発」

日時：2014年9月20日（土） 15時30分～17時30分

場所：ガーデンシティクラブ大阪（ハービスOSAKA 6階）

九大薬友会関西支部総会

15:00～15:30

パネルディスカッション

15:30～17:30

座長（進行）：永繁晶二（21回生、元田辺三菱製薬株式会社）

薬友会のみなさまは多くの方がくすり（医薬品）に何らかの形でかかわられておられることと思います。特に製薬企業にとって新医薬品（新薬）を世に出すことは社会的使命（患者さんを救うという面）でありますし、企業の存続、発展の生命線でもあります。関西支部には新医薬品について様々な立場の方がおられ、「新医薬品の創生と開発」というテーマで自由に意見を交わすのはおもしろいのではということでこのような場を設けました。

パネリスト：

- **宮本 政臣**（22回生、生化学工業株式会社、元武田薬品工業株式会社）
「製薬企業の立場から」
- **藤井 郁雄**（院29回生(博)、大阪府立大学理学部）
「アカデミアの立場から」
- **青木 高**（1回生、青木国際ビジネス特許事務所、元藤沢薬品工業株式会社）
「グローバル化が急速に進む医薬品産業」
- **川原 章**（24回生、製薬協、元厚生労働省、元PMDA）
「行政、業界団体の立場から」

※パネリスト各20分のプレゼンテーションのあと総合討論

懇親会

17:30～19:30

講演会には皆様のご家族、ご友人や職場の方の参加も歓迎いたします。